

科目名	政策形成ワークショップ	
担当者	藤井浩司	
配当学期	春期集中	
単位	2単位	
授業概要	<p>講義は集中講義形式でおこない、教場での事前講義とセミナーハウスでの合宿演習からなる。</p> <p>事前講義では、まず自治体行政における政策形成の必要性和と当面する政策課題について認識を共有したうえで、自治体行政のリストラクチャリングの展望をさぐるとともに、政策形成の具体的な手順について事例研究をさみながら検討をくわえたい。</p> <p>合宿演習では、ディベート and/or グループワークによる課題研究（フィッシュボーン/SWOT 分析/ディシジョンツリー/ポリシープロポーザルなどの作成）に取り組む。グループワークによる成果については、パワーポイントによるプレゼンテーション、質疑応答、総括をおこなう。</p>	
授業の到達目標	国内自治体の政策に焦点を合わせ、相互の施策比較、先進施策事例の研究に取り組みながら、政策形成の手順、手法について理解を深めたい。	
授業計画	<p>[講義日程/合宿場所]</p> <p>事前講義：6月25日（土）4-5時限（14:45~18:00）</p> <p>合宿演習：7月16・17・18日（土・日・月）2泊3日</p> <p>合宿場所：早稲田大学鴨川セミナーハウス（合宿費用は自弁）</p> <p>※食費・宿泊費 7,980円（2泊3日）</p> <p>事前講義</p> <p>①政策形成をめぐる環境変化とパラダイムシフト</p> <p>②政策形成の視角</p> <p>③政策形成のデザイン</p> <p>④合宿演習のオリエンテーション</p> <p>合宿演習</p> <p>①グループワーク1</p> <p>②グループワーク2</p> <p>③プレゼンテーション、質疑応答、総括</p>	
教科書	特にない	
参考文献	講義の中で適宜指示、あるいは必要な資料を配布する	
成績評価方法		評価基準
	試験 %	

	レポート %	
	平常点評価 70%	受講意欲、グループワーク・プレゼンテーション・質疑 応答などへの参加貢献度などにより総合評価
	その他 30%	合宿演習に欠席した場合、成績評価は0（ゼロ）。
関連 URL		
備考	<p>事前講義の際に、2泊3日分の宿泊費・食費を徴収します。セミナーハウス 利用については事前の費用弁済が原則になっており、事情変更による宿泊取 消に伴う費用の返還が認められていません。</p> <p>以上の事情を了解した上で、原則として事前講義、合宿演習の日程すべてに 参加できる方のみ登録してください。</p> <p>パワーポイントの基本的な操作についてはあらかじめ簡単なマニュアルを渡 しますので各自自習しておいてください。</p> <p>PCをもってくるのが可能な人はできるだけ持参してください。</p> <p>本講義は、宿泊・研修施設のキャパシティの制約から、原則としてクラス定 員を上限15名として設定しており、上限を超える受講登録申請がある場合 は抽選を実施する場合があります。</p>	